

伊勢・三河湾貧酸素情報 (R3-4号)

令和3年7月8日

愛知県水産試験場 漁場環境研究部

令和3年7月5～7日に伊勢湾、三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は以下のとおりです。

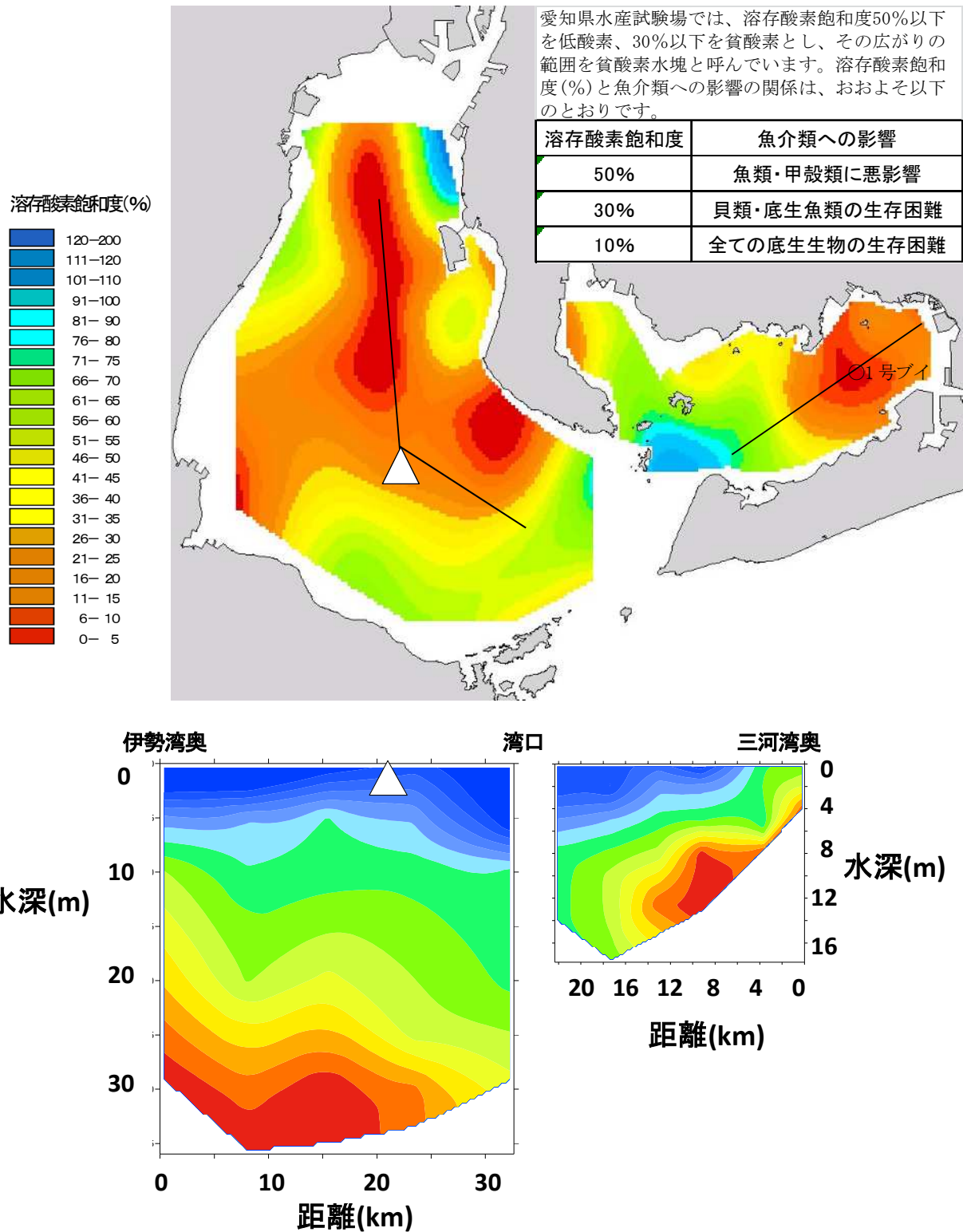


図1 伊勢湾(7月6、7日)・三河湾(7月5、6日)底層の溶存酸素飽和度の分布(上図)及び上図直線部分の鉛直分布(下図)(三重県「あさま」、愛知県「へいわ」調査)

伊勢湾

7月6、7日の調査結果を図1に示しました。伊勢湾の広い範囲で貧酸素水塊が確認されました。特に湾北部～中央部、美浜町～内海沖、松阪市沖では溶存酸素飽和度 10%台の水塊が確認されました。降雨により表層水の塩分が低下していることから、今後、成層の発達により下層で貧酸素水塊が拡大すると思われます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	24.2～26.9	7.9～26.3
底層	17.7～23.7	27.6～33.3

三河湾

7月5、6日の調査結果を図1に示しました。渥美湾においては湾奥部を中心に広い範囲で貧酸素水塊が確認されました。また、知多湾においても貧酸素水塊が確認されました。

三河湾海況自動観測ブイ（蒲郡沖、1号ブイ）のデータを見ると、6月30日～7月2日の強風による上下混合により、徐々に貧酸素水塊が縮小しました。また、7月1～3日の降雨に伴う河川水の流入後、表層付近で溶存酸素飽和度が高く、クロロフィル濃度の高い水塊が見られ、赤潮が発生していることが確認されました。降雨により表層水の塩分が低下していることから、今後、成層の発達により下層で貧酸素水塊が拡大すると思われます。

表2 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	22.0～28.5	8.8～30.1
底層	20.5～22.7	30.4～32.5

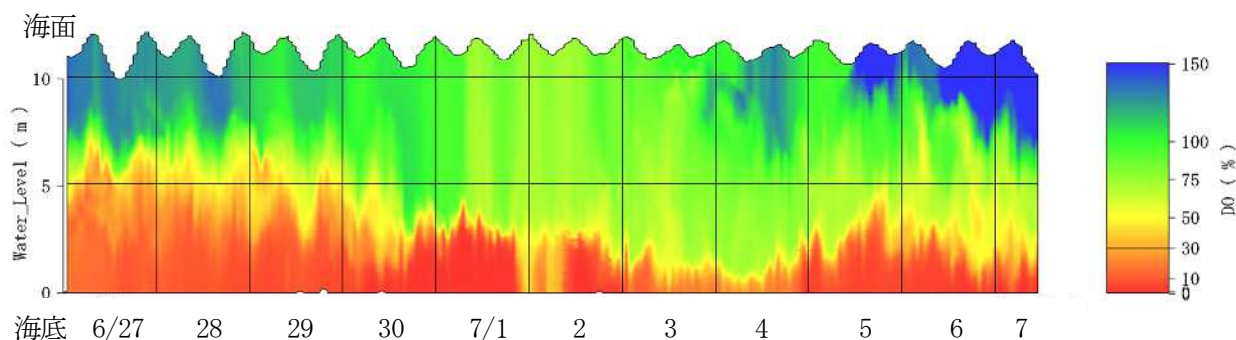


図2 溶存酸素飽和度 (DO) の経時変化 (三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ)

参考

前回調査時の伊勢湾、三河湾底層の溶存酸素状況

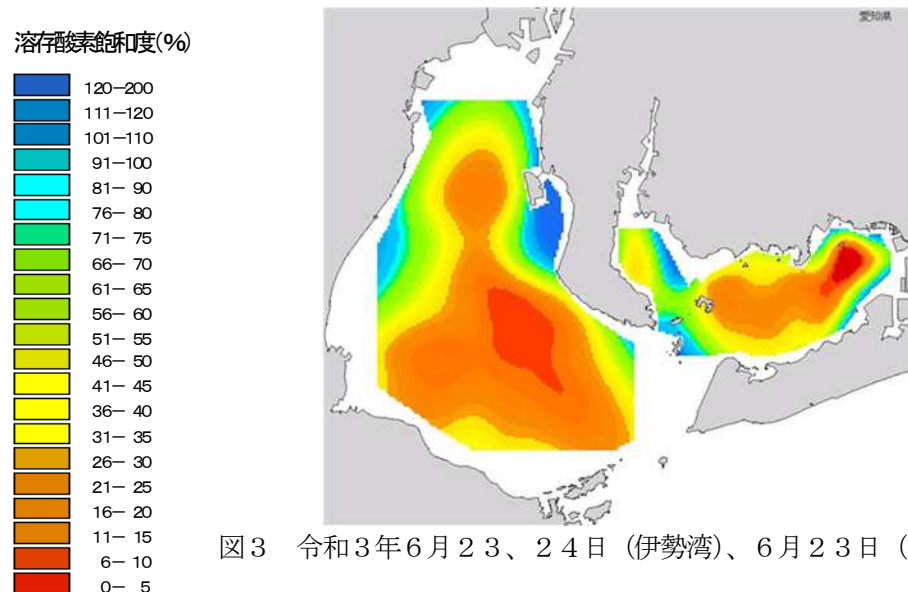


図3 令和3年6月23、24日 (伊勢湾)、6月23日 (三河湾)